



新しい国際援助体系に向けた 国連の役割 ～援助効果向上とOne UN～

第6回国連改革に関するパブリックフォーラム
第2議題分科会：開発
2008年3月3日

国連開発計画 (UNDP) 駐日代表 村田 俊一
United Nations Development Programme

本日の報告



1. 開発の枠組み：開発への道のり
2. パリ宣言から世界サミットへ
3. 2008年－開発年として

1-1. 開発の枠組み：2008年開発への道のり コペンハーゲンからの流れ



- 1995 世界社会開発サミット(コペンハーゲン)
- 1995 第4回世界女性会議(北京)
- 1998 DAC新開発戦略→具体的な数値目標設定が提案される
- 2000 ミレニアム・サミット：国連ミレニアム宣言採択
- 2005 第56回国連総会：事務総長年次報告書 ロードマップ発表
- 2002 開発資金国際会議(モンテレー)→モンテレー合意
- 2002 第57回国連総会：事務総長年次報告書
- 2010 第58回国連総会：事務総長年次報告『ミレニアム宣言の実施に関する報告書2003』
- 2004 第59回国連総会：事務総長年次報告書

1-2. 開発の枠組み: 2008年開発への道のり パリ宣言からフォローアップまで



- 2005.3 援助効果向上ハイレベルフォーラム(パリ)
援助効果にかかるパリ宣言
- 2005.9 世界サミット(国連総会特別首脳会合)
- 2010 MDGs達成目標年(2015年)の中間地点
- 2008.5 第4回アフリカ開発会議 (TICAD IV)
- 2008.7 北海道洞爺湖 G8サミット
- 2008.9 OECD援助国化向上に関するハイレベフォーラム(アクラ・ガーナ)－2005年パリ宣言フォローアップ(中間評価)

2-1. パリ宣言から世界サミットへ

パリ宣言：援助の質向上について(1)



■ 援助効果にかかるとパリ宣言(2005年)

援助が増額されても、それが効果的、効率的に使用されなければMDGs達成は困難。

- 5つのパートナーシップコミットメント：
オーナーシップ、アラインメント、調和化、成果マネジメント、相互説明責任に関し、計測可能な指標を設定、国ごとに進捗状況をモニターし、2010年までの目標達成を目指す。
- 2005年を基準年(ベースライン)とする。

2-2. パリ宣言から世界サミットへ

パリ宣言：援助の質向上について(2)



- **オーナーシップ**
 - － 国家開発戦略強化の必要
 - － 不正確な援助額予測に起因する、開発予算額の低い信憑性
- **アラインメント**
 - － 途上国：自国のシステムの更なる強化の必要
 - － ドナー：途上国のシステム強化に協働する必要
- **調和化**
 - － ドナーは援助の取引費用削減に更なる努力が必要
- **成果マネジメント**
 - － 費用対効果の高い成果重視型の報告枠組みを利用すべき
- **相互説明責任**
 - － 信頼できるモニタリングの仕組みづくりの必要性

2-3. パリ宣言から世界サミットへ

世界サミット：開発分野における主要な合意



1. MDGsを含む開発目標達成への決意表明
2. 開発における各国のオーナーシップとパートナーシップの確認
3. 2015年までのODAの対GNP比0.7%達成に向けた先進国の努力および開発資金増加を歓迎
4. 革新的な資金源を開発する価値を認識(例)IFF)
5. 国内資金の動員、対外投資を含む直接投資の奨励
6. 債務問題の解決策の重要性を強調
7. 南南協力の実績と潜在能力の認識、更なる協力促進を奨励
8. 貿易、教育、村落と農村開発、持続可能な開発：環境、エイズ等保健分野、ジェンダー平等、アフリカの特別なニーズ等における合意

2-4. パリ宣言から世界サミットへ 援助効果向上：国連の取り組み



- “One UN” 「ひとつの国連」に向けて
 - 国レベルでの国連プログラムの統合
 - ドナー資金管理方法の見直し
 - 人道支援、環境、ジェンダー等の分野での効率性強化
 - ビジネス・プラクティスの向上および調和化
 - 国連システム内での重複の排除

3-1. 2008年 - 開発年として



- TICAD IV開催(2008年):
アフリカ開発のための援助、貿易・投資、
平和の定着
- 北海道洞爺湖サミット開催(2008年):
地球規模課題への更なる取り組みの推進
- 「援助効果にかかるとパリ宣言」中間評価
(2008年)および目標達成期限(2010年)

3-2. 2008年－開発年として

TICAD IV: 元気なアフリカを目指して: 希望 と機会の大陸 “Towards a Vibrant Africa”



- 基本メッセージ: “Towards a Vibrant Africa”
 - 今後のアフリカ開発への国際社会の取り組みを具体的に打ち出す

- 会議における重要事項とアプローチ

- 重要事項:
- 成長の加速化
 - 人間の安全保障確立
 - 環境・気候変動問題への対象

- 4分野での
アプローチ:
- 成長の加速化
 - MDGsの達成
 - 平和の定着と民主化
 - 環境・気候変動問題への対処



3-3. 2008年－開発年として TICAD IVからG8北海道洞爺湖サミットへ



■ 主要テーマ

- 環境・気候変動
- 開発・アフリカ
- 世界経済
- 不拡散をはじめとする世界問題

「TICADIVの成果を北海道洞爺湖サミットでG8の首脳と共有し、さらには、秋の国連総会において、これら2つの会議の結果を議長として報告して、世界と共有したいと考えています。」

－ダボス会議における福田総理大臣特別講演

日本のVisibility

